

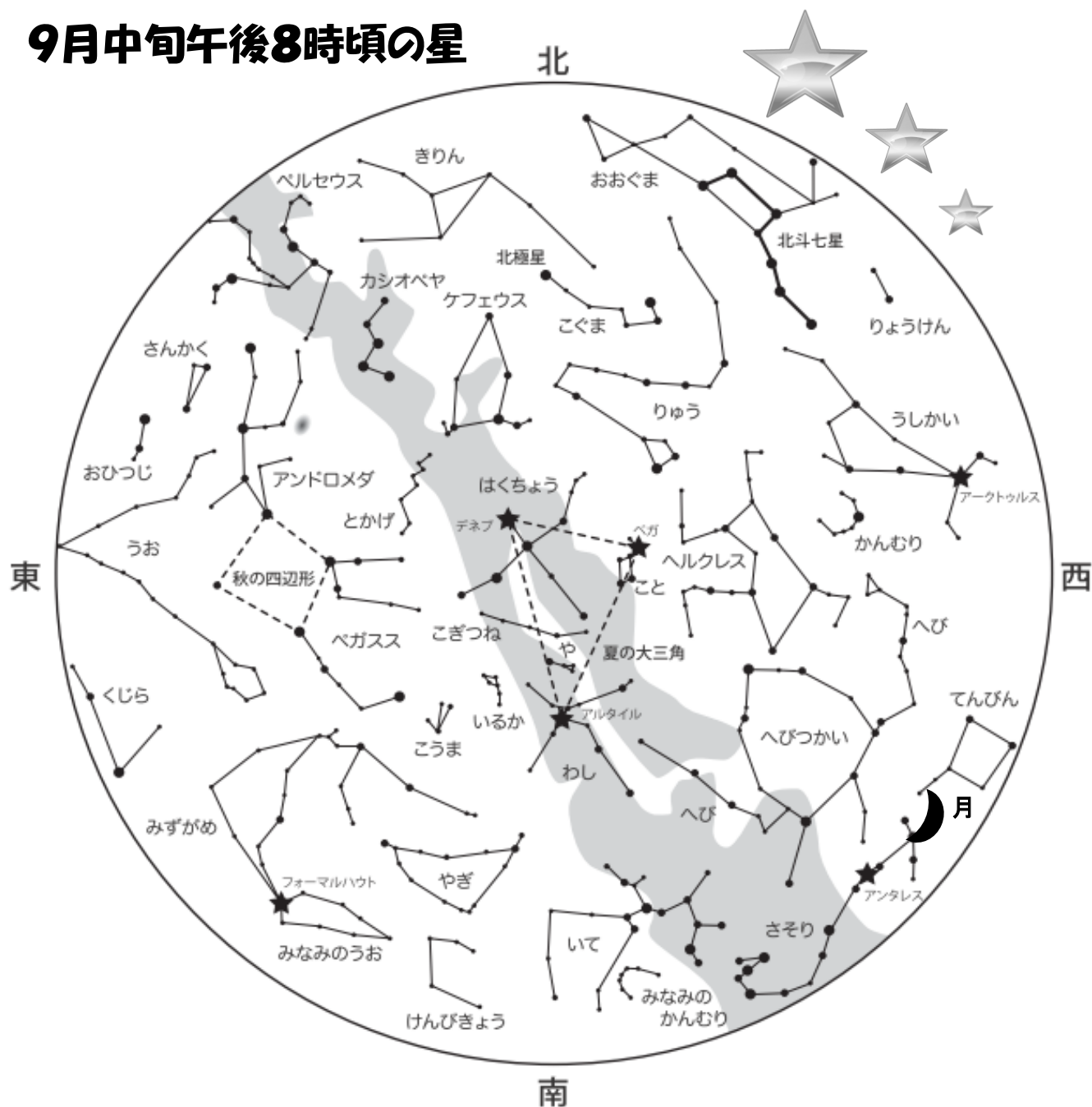
松江市立天文台 ~9月の天文教室~

2013年9月11日

9月になり徐々に夕暮れが早くなってきたのが実感できますね。でも星空は、まだまだ夏の余韻を残していて、宵の口には夏の大三角がちょうど頭上に輝いています。

東の空にはもう秋の星座が昇り始めて、夏と秋の星を同時に楽しめるのがこの時期です。

9月中旬午後8時頃の星



9月中旬の午後8時頃の星空です。月は9月11日の位置を表示していますが、見かけの大きさは実際とは違います。

★月

月は私たち地球を回る、(自然の)衛星です。

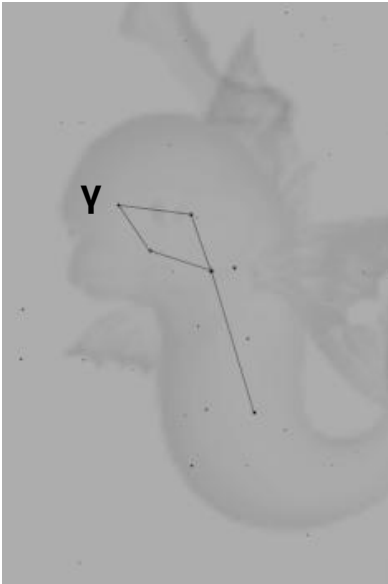
地球からの平均距離は約38万キロ、その大きさは半径1,700キロあまり、私たちに最も身近な「天体」で、潮の満ち引きなど地球や生き物の成り立ちに計り知れない影響を与えています。

今月の19日は「中秋の名月」にあたり、しかも満月です。

こんな月に思いを馳せながらお月見もするのも、いいかも知れません。



小型天体望遠鏡で見た土星のイメージ
実際に見ると上下左右がさかさまに見えます



★いるか座

わし座のアルタイルの東に輝く可愛らしい菱形の星座がいるか座です。ギリシャ神話では、海賊に殺されそうになった歌手のアリオンを助けたイルカとしてされています。

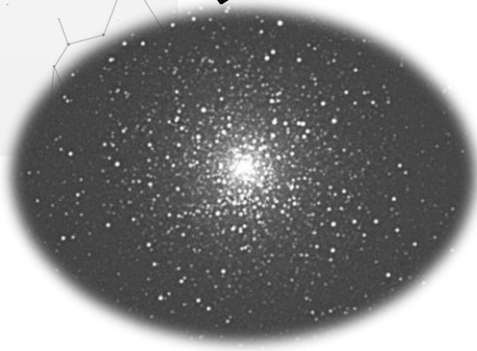
この星座のγ (ガンマ)星は二重星で、小型の望遠鏡でも黄い3.9等星と青い5等星の星に分離することができます。

8月14日には、日本のアマチュア天文家により、いるか座とこぎつね座の境界付近で「いるか座新星」が発見され、現在観測が続けられています。

ペガスス座の球状星団 M15



私たちから約4万9千光年の彼方にある球状星団です。小型の望遠鏡では、丸い雲のように見えますが、その正体は、多くの星が球状に集まっているものです。



次回の天文教室は

10月9日(水) 20時から21時(受付19時30分から)



Matsue Astronomy Club
MAC 松江星の会